

## 在宅介護実態調査

### 【目的】

第7期介護保険事業計画の策定において、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込むため、「要介護者の在宅生活の継続」と「介護者の就労継続」に有効な介護サービスのあり方を検討する。

### 【調査対象】

在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けた者のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける者。

### 【調査項目】

「基本調査項目」「オプション調査項目」のすべてを実施。

- ・基本調査項目（9項目） 自治体で優先的に把握すべき項目
- ・オプション調査項目（10項目） 自治体で実施の判断をすべき項目

### 【調査目標】

600件

### 【調査手法】

認定調査員による聞き取り調査（**手法Ⅰ**）を基本とする。また、限られた期間内で調査目標件数を確保できないため、郵送調査（**手法Ⅱ**）も併用する。

**手法Ⅰ** 認定調査員による聞き取り調査 210件

11月中旬～2月下旬に実施

$$\begin{aligned} & (1\text{か月の更新等申請件数}) \times (\text{調査期間}) = (\text{手法Ⅰによる調査件数}) \\ & 65\text{件} \quad \times \quad 3.5\text{カ月} = 210\text{件} \end{aligned}$$

**手法Ⅱ** 郵送調査（接続方式・調査票は**手法Ⅰ**と同様） 390件

2月中旬発送，3月中旬回収

$$\begin{aligned} & (\text{調査目標}) - (\text{手法Ⅰによる件数}) \div (\text{回収率}) = (\text{手法Ⅱの調査発送件数}) \\ & 600\text{件} - 210\text{件} \div 60\% = 650\text{件} \end{aligned}$$

### 【集計・分析】

**手法Ⅰ**と**手法Ⅱ**の「調査結果」と「要介護認定データ」を、平成29年3月に厚生労働省から提供予定の「自動集計分析ソフト」により、集計・分析・報告書作成を処理。

## 導入編-2. 調査手法の選択

### 1 各自治体の実情にあわせた3つの調査手法が用意されています

「在宅介護実態調査」では、回収率、調査精度、客観性の高さから「手法Ⅰ.認定調査員による聞き取り調査」での実施を基本としています。それぞれの自治体の実情にあわせた3つの調査手法を提案しています（調査の実施方法の詳細は、各調査手法別の【実施編】を参照してください）。

各調査手法の概要は以下の通りです。

#### 【手法Ⅰ】 認定調査員による聞き取り調査

##### 【推奨方式】

- 要介護認定を受けた高齢者等について、認定の更新時等に行われる認定調査の機会を活用し、認定調査の際に聞き取っている概況調査の内容を別途用意した調査票に転記することで、効果的で効率的な調査を実現します。
- 合わせて、後日に認定調査の結果と関連付けた分析を行うことにより、通常のアンケートでは困難な「認知機能とサービス利用の関係」や「施設希望とサービス利用の関係」などの客観的な分析を可能にします。

#### 【手法Ⅱ】 郵送調査 (接続方式)

- 「認定調査員による聞き取り調査」では、限られた期間内で十分なサンプルを確保することができない場合は、郵送による方法も選択肢となります。
- 当該手法は、郵送アンケート調査の際に、調査票に被保険者番号が分かるような番号を付し、回収後に認定データと関連付けた分析を可能とするものです。
- 回収率等は、手法Ⅰに劣りますが、同様の客観的な分析は一定程度可能です。

#### 【手法Ⅲ】 郵送調査 (非接続方式)

- 当該手法は、認定データを活用せず、必要となる全てのデータを郵送アンケート調査で調査するため、認定データの目的外利用等といった自治体の個人情報保護条例の取り扱いに関する問題は生じません。
- しかしながら、回答者の負担は大きく、回答の精度も十分なものは望めません。また、認知症に関するデータの取得は困難なため、手法Ⅰ・Ⅱと比較すると分析の幅も狭くなります。

## 2 3つの調査手法の「メリット」と「デメリット」

3つの調査手法の「メリット」と「デメリット」は以下の通りです。

「在宅介護実態調査」では、回収率、調査精度、客観性の高さから「手法Ⅰ.認定調査員による聞き取り調査」での実施を基本としていますが、手法Ⅰでの実施が困難な場合は手法Ⅱでの実施可能性を、手法Ⅱでの実施が困難な場合は手法Ⅲでの実施方法を検討してください。

### <3つの調査手法の「メリット」と「デメリット」の比較>

	手法Ⅰ 認定調査員による聞き取り調査	手法Ⅱ 郵送調査（接続方式）	手法Ⅲ 郵送方式（非接続方式）
住民の回答負担と客観性	◎ 負担はなく、客観性高い	○ 一定の負担はあるが設問数は限定的	△ サービス利用回数など負担大
回収率	◎ 高い回収率。 単身者でも高い回収率を期待	△ 回収率は限定的。単身者からの回答も低下傾向	△ 回収率は限定的。 単身者からの回答も低下傾向
サンプル数	△ 小規模自治体では短期間でのサンプル数確保が困難	○ 一斉配布によりサンプル数は確保しやすい	○ 一斉配布によりサンプル数は確保しやすい
認知機能の把握	◎ 認定データで客観的に把握可能	◎ 認定データで客観的に把握可能	× 客観的には把握できない
介護者に関する情報把握	◎ 調査に家族等が立ち会っていることも多く、情報の精度が高い	△ もともと回収率が低く、家族の介護者の状況がどこまで把握できるか不透明	△ もともと回収率が低く、家族の介護者の状況がどこまで把握できるか不透明
自動化ソフトの活用による簡素化	◎ 大幅な作業軽減が可能	◎ 大幅な作業軽減が可能	△ 従来のアンケートと同様
実施期間	大都市：◎、小都市：△ 大規模自治体では、短期間で調査可能だが、小規模自治体では長期の調査が必要	◎ 1カ月程度で実施可能	◎ 1カ月程度で実施可能
認定データの目的外利用への対応	各自治体の個人情報保護条例の内容に応じた対応が必要	各自治体の個人情報保護条例の内容に応じた対応が必要	不要

★ : オプション項目

資料 3

基本調査項目 + オプション項目

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号 [ \_\_\_\_\_ ]

【A 票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

- 1. 調査対象者本人
- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. 調査対象者のケアマネジャー
- 5. その他

**A 票** 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

- 1. 単身世帯
- 2. 夫婦のみ世帯
- 3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- 1. ない
- 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
- 3. 週に1～2日ある
- 4. 週に3～4日ある
- 5. ほぼ毎日ある

問8(裏面)へ

問3～問13へ

★ 問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

- 1. 配偶者
- 2. 子
- 3. 子の配偶者
- 4. 孫
- 5. 兄弟・姉妹
- 6. その他

★ 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

- 1. 男性
- 2. 女性

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- 1. 20歳未満
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代
- 7. 70代
- 8. 80歳以上
- 9. わからない

★ 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄                 | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助(食べる時)           | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)        | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動              | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬                    | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) |                |

〔生活援助〕

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

〔その他〕

- |         |           |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- |                          |                               |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)    | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した            | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した         |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない                      |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

★ 問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- |                       |             |                   |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 配食                 | 2. 調理       | 3. 掃除・洗濯          |
| 4. 買い物(宅配は含まない)       | 5. ゴミ出し     | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ  | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他               | 11. 利用していない |                   |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

★ 問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- |                       |            |                   |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食                 | 2. 調理      | 3. 掃除・洗濯          |
| 4. 買い物(宅配は含まない)       | 5. ゴミ出し    | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他               | 11. 特になし   |                   |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない     | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている |                 |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

★ 問 11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- |                            |                           |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中)              | 2. 心疾患(心臓病)               |
| 3. 悪性新生物(がん)               | 4. 呼吸器疾患                  |
| 5. 腎疾患(透析)                 | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む)           | 8. 変形性関節疾患                |
| 9. 認知症                     | 10. パーキンソン病               |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く)         | 12. 糖尿病                   |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他                   |
| 15. なし                     | 16. わからない                 |

★ 問 12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

★ 問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)の介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

● 問 13 で「2.」を回答した場合は、問 14 も調査してください。

★ 問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

- |                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない  | 2. 本人にサービス利用の希望がない        |
| 3. 家族が介護をするため必要ない           | 4. 以前、利用していたサービスに不満があった   |
| 5. 利用料を支払うのが難しい             | 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため  |                           |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない | 9. その他                    |

● 問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

**B票**

**主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目**

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- |                       |   |         |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている        | } | 問2～問5へ  |
| 2. パートタイムで働いている       |   |         |
| 3. 働いていない             | } | 問5(裏面)へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない |   |         |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

★ 問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- |                           |                            |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない  | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実        |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり         | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供       |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置    | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援      |
| 9. その他                    | 10. 特にない                   |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない    |                            |

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける        | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい      | 4. 続けていくのは、かなり難しい   |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない |                     |

⇒ 皆様、裏面へお進みください

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください  
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄                 | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助(食べる時)           | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)        | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動              | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬                    | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) |                |

〔生活援助〕

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

〔その他〕

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他                | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない |                      |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



## ② オプション項目

必須項目は、各種リスク・社会参加状況の把握のために必要な調査項目となっており、オプション項目はそれ以外の要素に着目した調査項目になっています。

図表 II-4 オプション項目

NO	設問内容	オプション項目
問1	あなたのご家族や生活状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護・介助が必要になった原因</li> <li>・主な介護・介助者の状況（高齢者との関係、年齢）</li> <li>・住まいの状況</li> </ul>
問2	からだを動かすことについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出を控えているか否かとその理由</li> <li>・外出の際の交通手段</li> </ul>
問3	食べることについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むせることがあるか</li> <li>・口の渇きが気になるか</li> <li>・歯磨きの状況</li> <li>・噛み合わせの状況</li> <li>・入れ歯の手入れ状況</li> <li>・体重の減少</li> </ul>
問4	毎日の生活について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話番号を調べて電話をかけるか</li> <li>・今日の日付がわからない時があるか</li> <li>・年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか 等</li> </ul>
問5	地域での活動について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ・町内会・自治会</li> <li>・収入のある仕事の状況</li> </ul>
問6	たすけあいについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は</li> <li>・友人・知人と会う頻度</li> <li>・この1か月間、何人の友人・知人と会ったか</li> <li>・よく会う友人・知人との関係</li> </ul>
問7	健康について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲酒の頻度</li> </ul>

※ 実際の調査項目は参考資料2・3を参照してください。

### (4) 調査の目的と各調査項目との関係

ここでは、必須項目における設問内容の意図について解説します。

#### 問1 あなたのご家族や生活状況について

NO	設問内容	選択肢
(1)	家族構成をお教えてください	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1人暮らし</li> <li>2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)</li> <li>3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下)</li> <li>4. 息子・娘との2世帯</li> <li>5. その他</li> </ol>

この設問は、家族構成を問う設問です。高齢者の世帯状況やその地域分布を把握すること、世帯構成別の回答結果を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります（孫を含む3世帯の場合は「その他」にしてください）。

NO	設問内容	選択肢
(2)	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか	1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

この設問は、主観的な介護の必要度を問う設問です。要介護状態になる前の高齢者の介護の必要度を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(3)	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

この設問は、主観的な経済状態を問う設問です。高齢者の経済状態やその地域分布を把握すること、経済状態別の回答結果を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

## 問2 からだを動かすことについて

NO	設問内容	選択肢
(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(3)	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

この設問は、運動器の機能低下を問う設問です（この設問で3問以上、該当する選択肢（上の表の網掛け箇所）が回答された場合は、運動器機能の低下している高齢者になります）。運動器の機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

この設問は、転倒リスクを問う設問です（(4)で「1. 何度もある」「2. 1度ある」に該当する選択肢が回答された場合は、転倒リスクのある高齢者になります）。転倒リスクのある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上
(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

この設問は、閉じこもり傾向を問う設問です（(6)で「1. ほとんど外出しない」「2. 週1回」に該当する選択肢が回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者になります）。閉じこもり傾向のある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

### 問3 食べることについて

NO	設問内容	選択肢
(1)	身長・体重	( ) cm ( ) kg

この設問は、低栄養の傾向を問う設問です（身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷{身長（m）×身長（m）}）が18.5以下の場合、低栄養が疑われる高齢者になります。）

低栄養状態を確認する場合は、オプション項目にある設問のうち、体重の減少傾向を把握する「6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか」も併せて確認し、2設問ともに該当した場合は、低栄養状態にある高齢者になります。

（この設問1問のみでは、地域の低栄養状態にある高齢者の把握はできませんのでご注意ください。）

低栄養状態にある高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際

に活用することが可能になりますので、事業の必要量を把握する場合はオプション項目1設問を加えた2設問を実施してください。

NO	設問内容	選択肢
(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ

この設問は、口腔機能の低下のうち咀嚼機能の低下を問う設問です（(1)で「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者になります）。

口腔機能の低下を確認する場合は、オプション項目にある設問のうち、嚥下機能の低下を把握する「お茶や汁物等でむせることがありますか」、肺炎発症リスクを把握する「口の渇きが気になりますか」も併せて確認し、3設問のうち2設問に該当した場合は、口腔機能の低下している高齢者になります。

（この設問1問のみでは、地域の口腔機能が低下している高齢者の把握はできませんのでご注意ください。）

口腔機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になりますので、事業の必要量を把握する場合はオプション項目2設問を加えた3設問を実施してください。

NO	設問内容	選択肢
(3)	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。）	1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

この設問は、義歯の有無と歯数を問う設問です。高齢者の口腔の健康状態や義歯の使用状況の把握により、地域の歯科医療や口腔機能の向上に関するニーズの把握の参考になります。

NO	設問内容	選択肢
(4)	どなたかと食事をともにする機会はありますか	1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない

この設問は、孤食の状況を問う設問です。閉じこもり傾向と孤食の関係性を把握することで、地域課題（閉じこもり傾向の原因）の把握が可能になります。

#### 問4 毎日の生活について

NO	設問内容	選択肢
(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

この設問は、認知機能の低下を問う設問です（(1)で「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります）。認知機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(4)	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(5)	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

この設問は、IADL の低下を問う設問です。IADL が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

#### 問5 地域での活動について

NO	設問内容	選択肢
(1)	以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか(老人クラブ・町内会・自治会の活動をのぞきます) ※①～④それぞれに回答してください ① ボランティアのグループ ② スポーツ関係のグループやクラブ ③ 趣味関係のグループ ④ 学習・教養サークル	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない

この設問は、①～④に該当する活動への社会参加の状況を問う設問です。

NO	設問内容	選択肢
(2)	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

(3)	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。	1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない
-----	--	--

この設問は、地域づくりへの参加意向を問う設問です。地域づくりに対して「参加者として」「企画・運営（お世話役として）」の両方の立場における参加の意向を把握することが可能になります。

問6 たすけあいについて

NO	設問内容	選択肢
(1)	あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）	1. 配偶者      2. 同居の子ども      3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫      5. 近隣      6. 友人 7. その他（      ） 8. そのような人はいない
(2)	反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）	1. 配偶者      2. 同居の子ども      3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫      5. 近隣      6. 友人 7. その他（      ） 8. そのような人はいない
(3)	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）	1. 配偶者      2. 同居の子ども      3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫      5. 近隣      6. 友人 7. その他（      ） 8. そのような人はいない
(4)	反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）	1. 配偶者      2. 同居の子ども      3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫      5. 近隣      6. 友人 7. その他（      ） 8. そのような人はいない

この設問は、たすけあいの状況を把握する設問です。たすけあいの状況と関係性がある、その地域のうつ傾向の発生状況を、間接的に把握することが可能になります。

問7 健康について

NO	設問内容	選択肢
(1)	現在のあなたの健康状態はいかがですか	1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

この設問は、主観的健康感を問う設問です。要介護状態になる前の高齢者の主観的健康感を把握することで、地域の健康度のアウトカム指標として活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(2)	あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）	とても不幸 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 点 点

この設問は、主観的幸福感を問う設問です。うつ傾向との関係性も想定される、要介護状態になる前の高齢者の主観的幸福感を把握することで、地域の（精神面での）健康度のアウトカム指標として活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

この設問は、うつ傾向を問う設問です（(1) (2) でいずれか1つでも「1. はい」に該当する選択肢が回答された場合は、うつ傾向の高齢者になります）。うつ傾向の高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(5)	タバコは吸っていますか	1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

この設問は、タバコの習慣を問う設問です。高齢者の健康寿命に影響を与えられられる本項目と他項目との関係性を把握することで、地域の高齢者の特性把握が可能になります。

NO	設問内容	選択肢
(6)	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）	1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常) 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 11. 外傷(転倒・骨折等) 12. がん(新生物) 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病 15. 認知症(アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病 17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他( )

この設問は、現在治療中の病気等を問う設問です。認定を受けていない高齢者の既往を把握することで、要介護状態になる原因等の地域課題の把握が可能になります。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
調査票（オプション項目の設問の意図）



## 問1

### あなたのご家族や生活状況について

No	設問内容	選択肢	設問の意図
(2)	①【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)	1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん (悪性新生物) 4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) 5. 関節の病気 (リウマチ等) 6. 認知症 (アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患 (透析) 10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他 ( ) 15. 不明	この設問は、介護・介助が必要になった原因を問う設問です。要介護状態になる前の高齢者の介護・介助が必要になった原因を把握することにより、地域課題 (要介護状態になる原因) の把握が可能になります。
(2)	②【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】 主にどなたの介護・介助を受けていますか	1. 配偶者 (夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他 ( )	この設問は、介助者の詳細を問う設問です。要介護状態になる前の高齢者の介護・介助の実態を把握することにより、地域課題 (家族介護の実態) の把握が可能になります。
(4)	お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか	1. 持家 (一戸建て) 2. 持家 (集合住宅) 3. 公営賃貸住宅 4. 民間賃貸住宅 (一戸建て) 5. 民間賃貸住宅 (集合住宅) 6. 借家 7. その他	この設問は、住宅の形態を問う設問です。地域の高齢者の住まい (サービス付き高齢者向け住宅など) のニーズ把握・サービス整備の検討の際に活用することが可能になります。

## 問2

### からだを動かすことについて

No	設問内容	選択肢	設問の意図
(8)	外出を控えていますか	1. はい 2. いいえ	この設問は、外出を控えている場合の原因を問う設問です。閉じこもり傾向のある高齢者の原因を把握することにより、地域課題 (閉じこもり傾向のある高齢者に不足している対策) の把握が可能になります。
(8)	①【(8)で「1. はい」 (外出を控えている) の方のみ】 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)	1. 病気 2. 障害 (脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配 (失禁など) 5. 耳の障害 (聞こえの問題など) 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. その他 ( )	

(9)	外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車（自分で運転） 5. 自動車（人に乗せてもらう） 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす（カート） 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他（ ）	この設問は、外出の際の移動手段を問う設問です。高齢者の外出の際の移動手段の実態を把握することにより、地域課題（移動手段上の課題）の把握が可能になります。
-----	------------------------	---	--

問3		食べることについて	
No.	設問内容	選択肢	設問の意図
(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ	(3) は、嚥下機能の低下を把握する設問、(4) は肺炎発症リスクを把握する設問です。必須項目にある設問のうち、咀嚼機能の低下を把握する「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」も併せて確認し、3設問のうち2設問に該当した場合は、口腔機能の低下している高齢者になります。
(4)	口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ	口腔機能が低下している高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。
(5)	歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか	1. はい 2. いいえ	この設問は、口腔ケアに問う設問です。日常の口腔ケアの状況を把握することにより口腔に関する地域課題の把握が可能になります。
(6)	①噛み合わせは良いですか	1. はい 2. いいえ	この設問は、咬合状態・義歯の管理を問う設問です。咀嚼機能や口腔衛生の状況を把握することにより、口腔に関する地域課題の把握が可能になります。
(6)	②【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか	1. はい 2. いいえ	
(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ	この設問は、低栄養の傾向を問う設問です。低栄養の傾向のある高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。

## 問4

### 毎日の生活について

No.	設問内容	選択肢	設問の意図
(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1. はい 2. いいえ	この設問は、認知機能の低下を問う設問です。認知機能が低下している高齢者の地域分布を把握することは、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。
(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい 2. いいえ	
(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい 2. いいえ	
(10)	新聞を読んでいますか	1. はい 2. いいえ	
(11)	本や雑誌を読んでいますか	1. はい 2. いいえ	
(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 2. いいえ	
(13)	友人の家を訪ねていますか	1. はい 2. いいえ	
(14)	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 2. いいえ	
(15)	病人を見舞うことができますか	1. はい 2. いいえ	
(16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 2. いいえ	
(17)	趣味はありますか	1. 趣味あり→ ( ) 2. 思いつかない	この設問は、趣味・生きがいを問う設問です。本項目と社会参加の関係性を把握することにより、社会参加する高齢者の傾向の把握が可能になります。
(18)	生きがいはありますか	1. 生きがいあり→ ( ) 2. 思いつかない	

## 問5

### 地域での活動について

No.	設問内容	選択肢	設問の意図
(11)	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ⑤老人クラブ ⑥町内会・自治会 ⑦収入のある仕事	1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない	この設問は、高齢者の社会参加の状況や就業状況を問う設問です。地域資源（要介護状態になる前の高齢者の就業状況）の把握が可能となります。

問6		たすけあいについて	
No.	設問内容	選択肢	設問の意図
(5)	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）	1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・役所・役場 6. その他 7. そのような人はいない	この設問は、地域の相談経路を問う設問です。地域の相談窓口の活用状況を把握することが可能となります。
(6)	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。	1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない	この設問は、友人関係を問う設問です。事業を展開したことにより、地域でのつながりがどの程度増えたかをモニタリングすることが可能となります。
(7)	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。	1. 0人（いない） 2. 1～2人 3. 3～5人 4. 6～9人 5. 10人以上	
(8)	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（いくつでも）	1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他 8. いない	

問7		健康について	
No.	設問内容	選択肢	設問の意図
(5)	お酒は飲みますか	1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない	この設問は、飲酒の習慣を問う設問です。高齢者の健康寿命に影響を与えると考えられる本項目と他項目の関係性を把握することにより、地域の高齢者の特性把握が可能になります。